

1. 王寺町の農業の概要

王寺町は、北葛城郡の西北部に位置し、金剛・葛城山脈と信貴・生駒山脈の合致点に奈良盆地の水を集める大和川が流れ、この峰を境として大阪府と隣接する水と緑が豊かな町です。

また、王寺町は大阪と奈良を結ぶ交通の要衝として栄え、西和地域の中心的役割を担ってきたことから、都市化が進んできました。

農業は、このように都市化が進んだことにより小規模な兼業農家が大多数を占め、稲作を中心に耕作をされていますが、そのほとんどが零細で自給的な農業が営まれています。また、その労働力の多くは高齢者に頼っているのが現状です。

2. 農業委員会の取り組み

①具体的な取り組み内容

都市化の進展によって、農地は減少していますが、農地は、保水機能など様々な公益機能を持ち、環境の保全や防災の上でも重要な役割を果たす大切な財産であり、かけがえのない農地を守り・担い手を育て本町のあるべき農業を将来に継承していくため、農地法などの法令に定められた事務を行うほか、農業・農業者の利益代表機関として行政や農業関係団体と連携しながら、地域の農業振興を図っています。



②取り組みに当たっての課題

本町の農業の現状は、都市化が進むに連れて農地が減少すると共に農業従事者の高齢化も進み、担い手・後継者の減少により一部の地域で遊休農地が発生し、混住化や集落機能の低下が見られる中、生産コストの高い稲作を中心に耕作をされています。

このような状況の中、小規模ながら大都市近郊で消費地に近い条件を生かした都市交流型農業など、農地の有効利用を図る多品目小産地を育成する農業を展開する必要があります。



③課題への対応方策

- 農地法の適正な運用による円滑な事務処理を行う。
- 農業委員一人一人が担当地区内においての農家からの相談活動を実施する。
- 農地の有効利用の推進及び担い手・後継者の育成対策を各地区農業関係団体と連携しながら推進する。
- 農業委員担当地区内での日々の農地の無断転用監視及び耕作放棄地パトロールを実施する。
- 耕作放棄地解消に向けて、担い手バンクへの登録の他解消策を検討する。